



名古屋いのちの電話



写真 中 島 初 男

言葉

川崎 洋

演奏を聴いていなくても

人は

♪を耳の奥に甦^{よみが}えらせることができる

言葉にしなくても

一つの考えが

人の心にあるように

むしろ

言葉に記すと

世界はとたんに不確かになる

私の「青」は

あなたの「青」なのだろうか？

あなたの「真実」は

私の「真実」？

20年をふりかえって



愛知のちの電話協会顧問 長岡利貞

私はさる2月24日の理事会で任期満了にともない理事を退任することを承認いただき、定款13条による顧問に就任することになりました。在任中は格別のご支援をいただき、心よりお礼を申し上げます。名古屋のちの電話にかかわって20年が経ちましたが、なにか荷を下ろした感じで、理事会の帰りにふと空を仰ぎ、感慨をおぼえました。

名古屋のちの電話とのご縁は、たまたまバス停で学生時代からの知人、もと日本YWCA 総幹事の島田麗子氏から手伝ってほしいと声をかけていただいたことにはじまります。仕事の内容もよく承知しないまま承諾したのも、私の断り下手の性格がそうさせたのだと思います。

杖中にあった聖霊病院のマリア館で設立の宣言をしたのが1985年、みこころセンターへの移転(1986)、全国研修大会の開催(1997)、社会福祉法人の認可(1997)、さらに現在地への引っ越し(1999)等、こう数えてみただけでも多くの変遷があったことがわかります。

これを内がわから眺めると、この20年は基礎づくりから展開へということになりましょう。主

なものを取り上げてみると、第1に24時間態勢の出発(1999)、第2は組織運営規則の制定(2004)、第3は養成方法の検討(2005)の3つがあります。

第2について述べれば、私たちの組織が慣習法(不文法)から成文法へと成長したものといえます。この中で努力したのは2点。第1点はこの規則の中に第18章除名・解任が設けられたことで

す。これについては、良心的な市民ボランティア活動に罰則とはなににごとか、汚らわしいという声がありました。ごく純な考え方の人たちからの批判です。これは団体活動をするときの必須の条項で、人間の知恵、常識に従ったままで、専門的職能団体はみなその倫理の担保としてこのよ

うな条項をもっています。画竜点睛、これを欠く組織は社会的に評価されることはないのです。もちろん不適格者を一方的に排除するなどの意図は全くありません。

第2点は相談員の定年制の提言です。これまたボランティア活動に定年とはなににごとかのお叱りをうけました。しかし、いくら自覚のある相談員も齢は争えませぬ。どんな組織でも新陳代謝が



なければ必ず老化し、社会の期待に応えることができなくなります。私たちの自己規律の証しとしてこの制度を設けました。ここに至るまでには全国各センターの実態を調査し、くりかえし相談員にはかり、慎重な手続きを経て制定されました。ことに移行措置の規定は情意を尽くしたもので、全国センターのさきがけともなりました。相談員の役割が終わっても、青天井の友の会で活動することができます。なお多年かかわってきた相談員を表彰する案も出ましたが、私たちには匿名の個人の活動を顕彰するという考えは全くありません。この規定の中にこれがないことを密かな誇りとしたいのです。役割を終えた時、静かに退場するというのがわれわれの美学です。

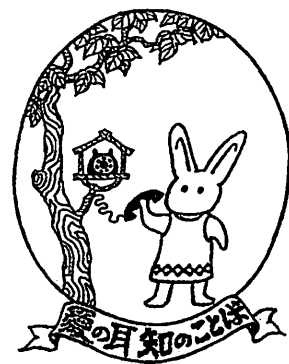
第3の大きな変革は養成方法の再検討ということで、第15期から試行的に実践しています(2005～)。発足当初、電話相談の理論や技術、また相談員の養成の方法は全く未開拓の領域でした。さしあたって人間関係訓練については南山短期大学人間関係学科の豊かな蓄積を取り入れ、幸いそのスタッフの応援を得ることができました。その体験学習という方法は、電話相談の基礎訓練として極めて実用性の高いものでありました。この中で鍛えられた受容と共感を基本とする傾聴訓練は、今なお相談員養成の根底となるものです。ただこれが表層的に受け取られて、心のこもらないうなずきになったり、機械的なり皮肉に終わる恐れがあります。これが時に利用者の反撥をかったり、苦情の電話になることが明らかになってきました。そこで第15期からは受容と共感による傾聴を基本としながらも、一歩ふみ込んで問題解決志向をとり入れ、基本を補完しようと試みました。この主旨はスーパーバイザーの先生方にもお知ら

せしました。

さらに15期からは6ヶ月のモニター研修及び実習の期間を設け、ゆるやかな傾斜をつけて実務に入ることにしました。これらの養成の過程で相談員から養成スタッフを公募し参加することを本格化しました。このように養成について大きな変更があったのも、背景に昨今の利用者に質量ともに大きな変容が見られるという現実に対応しようとするものです。

以上、ざっと20年間をふり返りましたが、現在の電話相談の置かれた状況は一段と厳しいものになっています。苦情や非難はもとより電話相談の番外編ともいべきインターネットの書き込みを見れば明らかです。改めて電話相談の使命とはなにかを考えさせられます。また情報公開が叫ばれています。電話相談の基本原則である匿名性、守秘義務あるいは一回性についても検討すべき時代に入っていると考えます。

ともあれ55年の職業生活の最後を電話相談にかかわることで結びとすることができたことを無上の幸せに思い、重ねてあつくお礼申しあげます。



(カットは全国研修大会(1997)の
ロゴマークです。デザイン=水谷 鶴)

2005年度 事業報告

2005年度も愛知のちの電話協会の電話相談活動に、多くの方々から温かいご支援とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。またこの一年を通じ一日の休みもなくご奉仕いただきました相談員の方々に、改めて敬意と謝辞を申し上げます。

1985年の開局以来、312,185件の電話相談を受信いたしました。2001年からは厚生労働省の後援のもとに自殺防止のフリーダイヤルが始まり、5年目になりました。その背景には、年間3万人の自殺者の防止対策ということがありますが、全国的な取り組みとしてのいのちの電話の果たす役割の重要性が高まっていることへの現れかと思われまます。こうした事業を支えてくださった多くの支援者、電話相談員の皆様のご尽力があつてのことと重ねて感謝申し上げます。

2005年度の特筆すべき事業の一つに「電話相談ボランティア養成講座」がありました。15期生からは、一年間の研修、さらに半年間のインターン研修で電話相談員として認定されます。そうして2月23日には41名の研修生が修了証を手にし、続けて6ヶ月の実地電話相談（インターン研修）に入り9月の認定を待ちます。

養成委員会

委員長 梶原 寿

第15期生から養成期間が助成金申請の関係もあって、一年間で修了することになり、4月募集が定着することとなった。今期の当初の申込者57名のうち前期、中期、一泊研修、後期の全期間終了者は41名であった。研修生はこれに加えてさらに半年間のインターン研修（深夜帯も含む）を経て、本年9月17日に認定を得る予定である。この15期生の養成に当たっては、従来の方式と異なる点もあるため、特に「名古屋いのちの電話」常務理事長岡利貞氏が運営責任者となったが、全期間修了と共にその職務は現在の委員長に引き継がれた。

なお今期の養成に当たっては、中期の人間関係トレーニング及び養成スタッフ研修以後ファシリテーターとして石田まり子氏が指導に積極的に携わることになり、従来の「傾聴中心」の方式から「開かれた会話」や「解決策の提案」の方式へと重点が移されることになった。これは、利用者の話をより深く理解する事や、利用者が求めている情報を提供し、利用者の役に立とうという積極的な相談技法へのバージョンアップと考えている。このような重点拡大を図らざるを得ない背景には、相談電話の質的な変化が挙げられる。自殺願望者の増加、性の相談電話、頻回通話者、心を病んでいる人など、様々な電話への対応が求められ、相談技術の幅を広げる必要性がでてきたためである。

この流れをふまえ、後期には実践的な相談員を養成することを重要な達成目標とし、現役相談員の体験報告、タイプ別の電話相談対応など、ロールプレイをもちいて練習を積み重ねる形にし、実際の場面での戸惑いや研修場面とのギャップを少しでも減らそうとした。

これらの研修により参加者一同の意欲が一層増進するようになった。これは時代の変化に伴う電話相談の質的变化を意味するものであり、私もある時点で力の限界を痛感し委員辞任を決意していたが、相談員や訓練スタッフ、研修生の積極性に共鳴して引き続き協力するよう翻意した次第である。現在の委員は以下の通りである。梶原寿（委員長）、水谷巍（副委員長）、石田まり子（副委員長及びファシリテーター）、ほかに相談員4名。

すべての営みがボランティア精神に支えられている「いのちの電話」の活動にとって一番大切なことは、参加者一同の積極的意欲の促進である。その点が15期生に共通してみられる特徴であろう。

相談委員会

委員長 兼田 智彦

相談委員会が活動をはじめて5年が過ぎました。その間、さまざまなご意見をいただきながら、名古屋いのちの電話相談活動を支えるための仕事をしてまいりました。

毎年、4月には相談員が誓いを新たにする「登録更新研修会」が行われます。1年間の継続研修に出席し、電話担当をこなし、この研修会を受講して誓約書を提出した相談員のみが1年間新たに相談活動を担う事ができます。2005年度は192名の相談員が登録しました。

継続研修は、10数名がグループを作り月1回の研修会を行います。この研修のなかで電話相談の力量を高め、仲間を支え合うこととなります。各グループとも年間10回以上の例会と、1回以上の公開講座を行いました。

スーパービジョンまたはピア・スーパービジョンは、各相談員が年1回以上行いました。スーパービジョンでは心理等の専門家からさまざまなアドバイスなどを得ながら、自分自身の問題点や相談活動の悩みなどを話し合います。名古屋いのちの電話では多数の専門家のご協力をいただいております、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

いのちの電話の中心的目的である「自殺予防」について、厚生労働省が提唱している自殺予防週間の12月1日～7日までに行われるフリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」には、名古屋いのちの電話も参加し、約300件の相談を受信しました。

5年にわたり、相談委員長を務めてまいりましたが、運営規則により任期満了となりましたので退任させていただきます。皆様のご協力に感謝いたします。

広報委員会

委員長 長井 潤

広報委員会の働きは「より多くの人々にいのちの電話のことを知ってもらい、より多くの支援を得る」ための各種啓蒙活動やイベントを、立案から評価反省まで実施することが主な役目です。

本年度も多くの方々のご協力で、機関誌を3回発行し、7月には京都より森乃福郎師匠をお迎えして、抱腹絶倒「チャリティー寄席」、そして12月にはヨーロッパで活躍中のトランペッター・佐藤友紀氏をお迎えして、感動の「トランペットの午後」の2回のチャリティーコンサートを開催いたしました。1月には“歌う住職・いのちの賛歌”として高名な中野見夫住職を愛知県一宮市からお招きし、「市民公開講座」を開催いたしました。

そのいずれも、参加できなかった方には「残念」としか申し上げようがありません。どうぞこれからも、広報委員会のイベント情報にご注目ください。

また、相談員と賛助会員の方々に続けている手描きの誕生日カードも、係わる方々の多大なご奉仕で発送していることを感謝申し上げます。

チャリティーコンサートから得る収益金は私達の大切な資金となっていますし、機関誌の発行や市民公開講座の開催はより多くの人々へ私達が行っている「運動」の意義を伝えるための大切な機会です。

これらの全ての働きが、多くの方々のご奉仕によって支えられていますことを感謝し、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

財務委員会

委員長 西 沢 信 正

「名古屋いのちの電話」を支える主な収入源というのは、助成金、賛助会費、寄付金、それに養成講座受講料となっています。助成金は愛知県共同募金会と東海テレビ福祉文化事業団で合わせて85万円。賛助会費は499万円、寄付は406万円、年末募金は74万円と前年比45万円の増収という結果が出ました。支出面では、営繕費として、トイレの便器改修、相談室の椅子を全部新調、そうして長年使用してきた電話機も今年度取り替えることにした。これらは、電話相談事業として極めて重要な事と考え改修に踏み切った。

2005年度は更に、養成講座が1年研修になり、相談員研修スタッフの育成にも努めた。そのために2006年度の予算は、ほぼ2005年度決算に準じて収入は全体に控えめにたてられています。支出面では教育訓練費を50万円増額して、継続研修、スーパービジョンといった相談員の研修費に振り当てることと、研修スタッフ費として当てることとなった。また15期養成講座も順調に進み、16期生もそれに沿って計画されている。

また東海地震、東南海地震が予想される現在、これに対処すべく、今まで100万円を用意したが、さらに100万円を積み上げて、いざというときに備える事にした。地震災害に対処すべき当面の備品についてはすでに購入しているが、相談員の安全と安心を確保するために予想外の緊急支出に備える事にした。

それとは別に、あと5年もすれば名古屋いのちの電話開局から25周年を迎える。記念誌の刊行、記念行事の開催などの活動のために今年度も100万円を充てることとした。

総務委員会

委員長 植 田 望

2005年度の役割として、前年度と同様「組織全体にかかわる内容を把握し、事務局と協力しながら組織を支えていくのが総務委員会の役割」と位置づけています。

総務委員会は毎月定期的開催され、日常の業務に係わる諸問題について事務局長を交えて意見交換・調整をしながら必要に応じて運営協議会の開催を主宰しています。

○運営協議会の開催について

運営協議会は、養成・相談・広報・財務・総務の5委員会の委員長、ベルの会及び友の会会長、事務局長で構成されています。今年度は2回開催され、各委員会・事務局からの報告・提案を受けて組織全体として確認したり、各委員会の業務にまたがる内容について調整したりしています。今年度開催された会議での議題を2、3報告します。

- (1) 任期満了に伴う理事・評議員の推薦について
 - (2) 各委員会の長のうち、任期（5年）満了に伴う後任の承認
 - (3) 15期養成講座について（養成講座を1年間で修了するカリキュラム及びインターン研修制度の確立）
- 総務委員会では、今後も事務局を支えながら「運営協議会」での話し合いを大切にして、組織運営が円滑に行われるようお手伝いしていきます。

2005 年度収支計算書

単位：円

2006 年度予算

単位：円

科 目	決 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
賛助会費 (A)	1,080,000
賛助会費 (B)	585,000
賛助会費 (C)	429,000
会費 (法人)	2,710,000
相談員・友の会会費	192,000
寄付 (個人)	2,677,000
寄付金 (法人)	1,380,808
年末募金	741,000
講座受講料	3,390,000
受取利息	803,361
雑収入	38,942
当期収入合計 (A)	14,877,111
前期繰越	8,932,185
収入合計 (B)	23,809,296
(借方) 支出の部	
事業費	
研修費	3,544,521
広報費	503,345
連盟分担金	265,000
諸会費	10,000
(事業費合計)	(4,322,866)
管理費	
人件費	4,395,650
需要費	
法定福利費	73,500
旅費・交通費	2,000
家賃	2,520,000
共益費	163,800
光熱水道費	654,894
営繕費	423,000
賃借料	194,712
通信費	381,363
文具印刷費	161,059
消耗品費	208,043
雑費	196,134
東海地震対策費	8,690
25周年記念事業準備金	1,000,000
管理費合計	10,382,845
当期支出合計 (C)	(14,705,711)
当期収支差額 (A) - (C)	(171,400)
次期繰越収支差額 (B) - (C)	9,103,585
	23,809,296

科 目	予 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
賛助会費 (A)	1,000,000
賛助会費 (B)	600,000
賛助会費 (C)	400,000
会費 (法人)	2,500,000
寄付 (個人)	2,000,000
寄付金 (法人)	1,500,000
年末募金	1,000,000
講座受講料	3,000,000
受取利息	800,000
雑収入	50,000
当期収入合計 (A)	13,700,000
前期繰越	9,103,585
収入合計 (B)	22,803,585
(借方) 支出の部	
事業費	
研修費	4,500,000
広報費	600,000
連盟分担金	300,000
諸会費	20,000
調査研究費	30,000
会議費	20,000
(事業費合計)	(5,470,000)
管理費	
人件費	4,700,000
需要費	
法定福利費	200,000
旅費・交通費	50,000
家賃	2,520,000
共益費	163,800
光熱水道費	700,000
営繕費	1,000,000
賃借料	279,720
通信費	500,000
文具印刷費	200,000
消耗品費	500,000
雑費	400,000
東海地震対策費	2,000,000
25周年記念事業準備金	1,000,000
管理費合計	(14,213,520)
当期支出合計 (C)	(19,683,520)
当期収支差額 (A) - (C)	(△ 5,983,520)
次期繰越収支差額 (B) - (C)	3,120,065
	22,803,585

グラフで見る名古屋いのちの電話

○ 21年間の受信件数の推移（1985年7月～2005年12月）

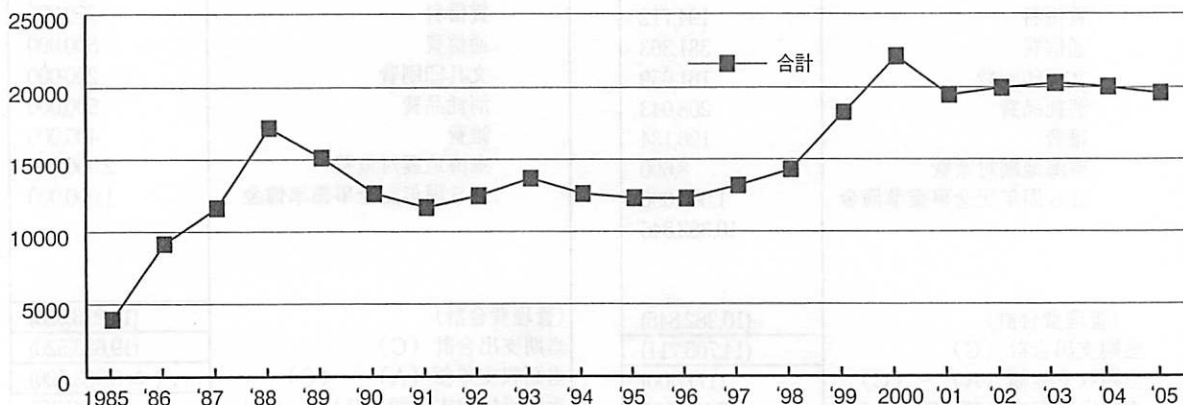
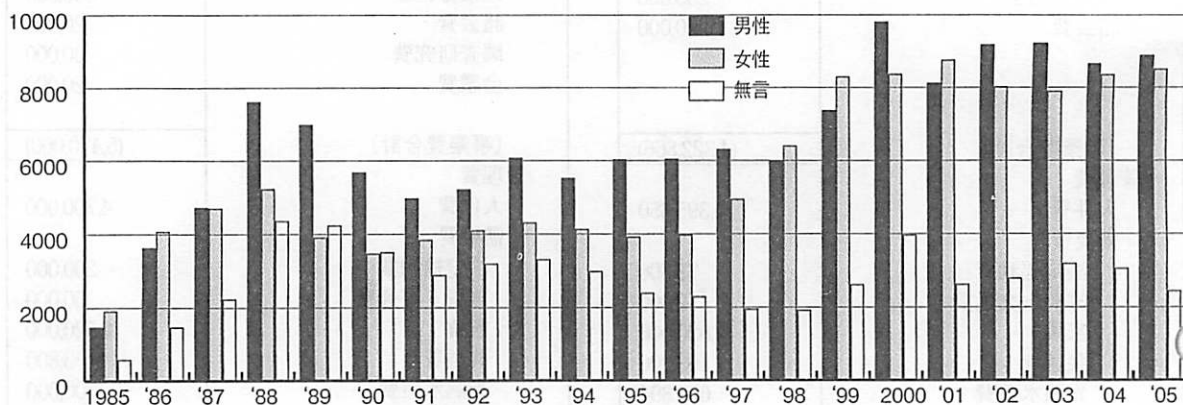
1985年の開局からの受信件数は、312,185件でした（うち無言電話の57,672件を含む）。2005年度の1日あたりの平均受信件数は54.14件になります。

2001年度から始まりました厚生労働省の後援による、自殺予防のフリーダイヤルは5年目を迎え、12月1日から7日までの1週間で300件（無言電話の12件を含む）を受信しました。

○ 20年間の受信件数（1985年～2004年）

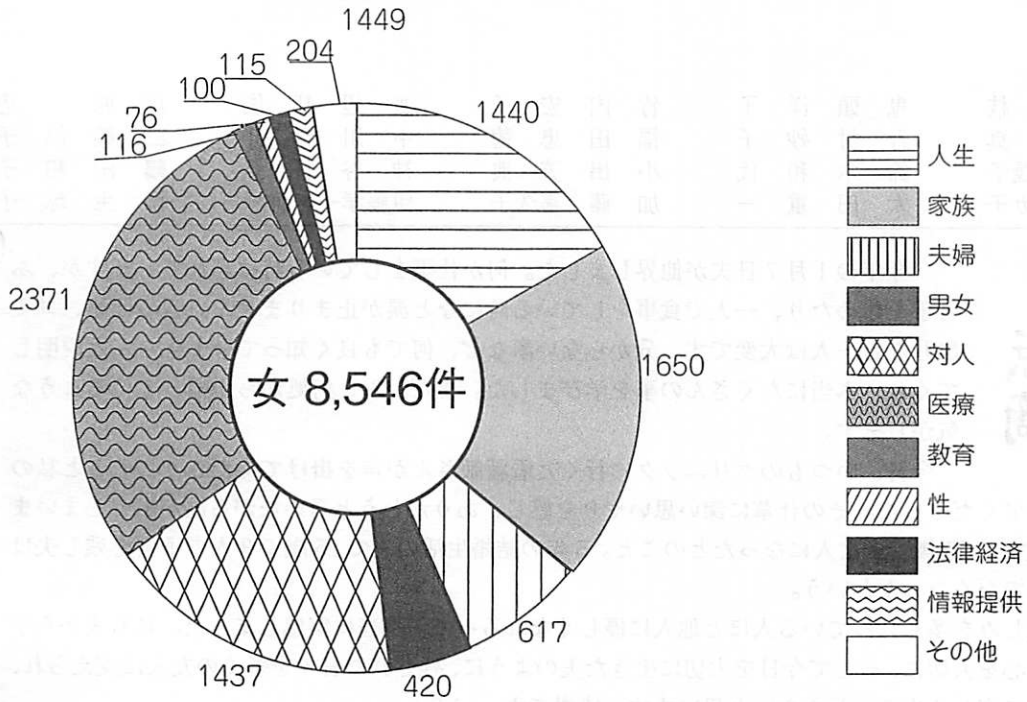
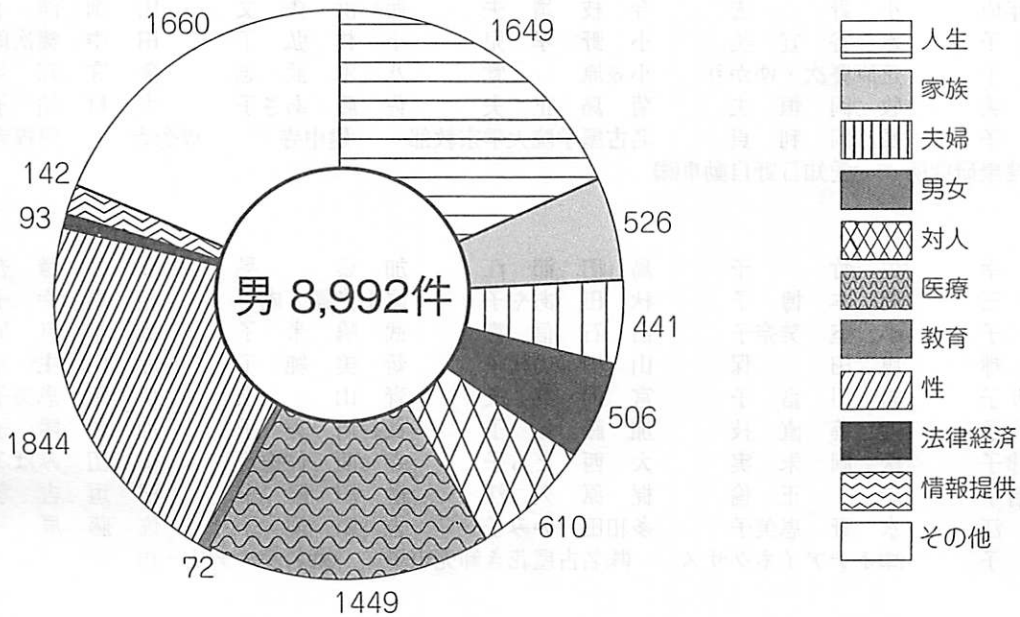
	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
男性	1465	3626	4721	7603	6979	5670	4970	5210	6069	5514	6025	6038
女性	1905	4071	4700	5224	3905	3469	3836	4094	4306	4125	3911	3966
無言	573	1466	2227	4356	4232	3504	2882	3189	3306	2981	2385	2285
合計	3943	9163	11648	17183	15116	12643	11688	12493	13681	12620	12321	12289

	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	合計
男性	6301	5989	7364	9800	8114	9173	9215	8647	8992	137485
女性	4940	6392	8289	8357	8749	8010	7885	8348	8546	117028
無言	1942	1913	2610	3962	2617	2783	3184	3051	2223	57672
合計	13183	14294	18263	22119	19480	19966	20284	20046	19761	312185



2005年 相談内容別受信件数（1月～12月）（除く無言電話）

		人生	家族	夫婦	男女	対人	医療	教育	性	法律経済	情報提供	その他	総計
総計	男	1,649	526	441	506	610	1,449	72	1,844	93	142	1,660	8,992
	女	1,440	1,650	617	420	1,437	2,371	116	76	100	115	204	8,546
	計	3,089	2,176	1,058	926	2,047	3,820	188	1,920	193	257	1,864	17,538



ご援助ありがとうございます

2006年2月より5月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

社会福祉法人愛知のちのちの電話協会
理事長 野村 純一
財務委員会

賛助会員 A

梶原 薛	細川 拓	塩野 高子	高橋 映	内川 正邦
榎本 和	小嶋 洋一	熊沢 豊	島田 吉枝	川上 厚成
西村 洲衛男	水谷 巍	樫尾 一	梨本 将代	大島 恭子
望月 千年成	小野 宏	今枝 靖夫	西浜 久文	大田 畑洋子
落合 亨子	水谷 宣美	小野 孝児	小林 弘子	田中 健次郎
富安 玲子	芝原慶次・ゆかり	小笠原 覚	八木 武志	潘 守邦 晃子
田村 茂美	牧岡 恒夫	菊島 正夫	佐藤 あさ子	大村 祐子
大塚 博子	長岡 利貞	名古屋学院大学宗教部	建中寺	専念寺 興禅寺
井坂 ヨーガ健康研究所	愛知日野自動車(株)			

賛助会員 B

相川 久幸	佐竹 一予	島田 節江	加藤 晃	今井 謙吾
豊島 徳三	岡本 博子	秋田 あや子	眞山光彌・成子	相馬 幸子
森 宣子	小室 美奈子	白石 信喜	武嶋 米子	橋本 良男
柳澤 幸輝	塩田 保子	山田 美代子	新美 純子	片山 主水
瀬戸口 マサ子	岩川 富子	宮内 英夫	青山 玄子	伊藤 恵美子
岩田 邦子	近藤 直枝	加藤 倫子	長谷川 秀子	加藤 陽子
浅野 美津子	松岡 朱実	大西 とも子	寺西 佐稚代	福田 みはる
水谷 美智子	岸 正倫	梶原 久江	神田 陽子	稲垣 吉孝
志村 澄江	水野 恵美子	多和田 いみ子	吉田 愛子	佐藤 辰一
山口 和子	(株)オチアイネクス	(株)名古屋花き卸売市場	東名サニタリー(株)	

賛助会員 C

村山 一枝	鬼頭 洋子	竹内 宏子	渡辺 邦俊	川原 恵子
水野 真	野村 妙子	福田 忠徳	中川 晋介	三輪 淳子
加藤 登茂子	鈴木 和代	小出 芳典	神谷 将弘	鶴田 和子
山下 タカ子	太田 重一	加藤 喜久子	伊藤 孝一・雅子	柳 生球子

点滴

今年の1月7日夫が他界しました。何か仕事をしている時は忘れていますが、ふと手を休めたり、一人で食事をしている時になど涙が止まりません。庭の仕事、ゴミ出しなど一人は大変です。分からない事など、何でも良く知っていてきちんと説明してくれ、本当にたくさんの事を学びました。まだ、ふと何処からか帰ってくるような気がします。

今日、いつものクリニックに行くと看護師さんが声を掛けてくださり、そっと私の肩を抱いてくださった。その仕草に深い思いやりを感じ、ありがとうと言いながら涙が出てしまいました。彼女は25歳で未亡人になったとのこと。5年の結婚生活のみで25歳で3人の子供を残し夫は交通事故でなくなったという。

人は悲しみを多くしている人ほど他人に優しくなれるって、本当に実感しました。私も夫から学んだ人の心を大切に、そして今日を大切に生きた夫のように、残された日々を多くの友人に支えられ、前を向いて楽しく生きて行きたいと思います。感謝です。(A.S.)

中出 智恵子	井沢 陽子	平野 昌子	和久 英子	川村 弘子
尾関 稔	相川 義治	齋藤 延枝	深谷 愛子	小幡 美登理
杵山 達雄	植木 ヒロ	水野 壽子	中井 文子	朝倉 夏雄・建子
中谷 塩子	西尾 潔	伊藤 久美子	山崎 京子	矢野 静枝
斉藤 喜世子	浅野 喜代子			

日本福音ルーテル復活教会婦人会 日本キリスト教団名古屋東教会婦人会
 ギャラリースミ鷺見和良

寄付金

安藤 睦子	榎本 正子	永井 洋子	舟橋 いさゑ	近藤 多美
原口 友和	佐藤 辰一	長岡 利貞	鈴木 栄子	秋田 あや子
島田 吉枝	岡崎 和子	伊藤 慎吾	鬼頭 明枝	山川 倫子
鈴木 智子	大塚 博子	加藤 省吾	浜下 子爵	山田 智彦
高橋 孝子	隈元 真理子	岸 正倫	梶原 泰浩	宮田 喜代子
中川 鋪子	石園 和枝	石田 朗子	森 祐子	坂 敏子
中浦 和子	菊島 正夫	伊藤 智美	原 田 祐子	新美 純子
山口 幸男	神田 喜代子	加藤 厚子	小栗 和子	吉田 佳子
武保 輝彦	浅野 絹子	見 木 靖美	加藤 みゆき	風岡 良子
小川 邦泰	古 沢 清美			

金城学院高等学校	川名山聖霊修道院	金城教会社会福祉委員会	社会福祉法人中部善意銀行
聖ドミニコ宣教修道女会岡崎修道院		本遠寺	日本基督教団名古屋教会
愛知電話ネットワーク	カトリック布池教会	日本キリスト教団愛知教会女性の会	(株)中外
宗教法人幼き聖マリア修道院		光ヶ丘女子高等学校	カトリック東山教会
(株)オティックス	黒金化成(株)	万能工業(株)	(株)陣内工業所
川北電気工業(株)	昭和美術館	ホーユ(株)	(株)みどり造園
			名古屋北教会社会奉仕委員会

賛助寄付

名東歯車株式会社	(株)東海通信資材サービス	杉山工業(株)	(株)三琇プレジジョン	アサダ(株)
(株)榎屋	(株)青山製作所	トヨタ紡織(株)	(株)杉浦製作所	(株)サンゲツ
新明工業(株)	(株)ミヤタコーポレーション	トヨタ L&F 中部(株)	武田機工(株)	
社団法人名古屋中村法人会	(株)ジェイテクト	トヨタ車体(株)	中央精機(株)	
社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団		崇覚寺	山中輝弓	

名古屋いのちの電話友の会便り

「友の会」は名古屋いのちの電話の活動を機会あるごとに応援することを目的に、この6年間仲間づくりに励んできました。

去る4月29日に2006年度の総会を開催し、和やかな懇親のうちに活動の状況を確認し合い、今年度も会員の増強をはかり奉仕活動の拡大につとめることを申し合わせました。

現在の会員数は70名程ですが、内に秘めたいのちの電話への思い入れと奉仕の情熱は頼もしい限りです。毎月第3水曜日の月例集会のほか、必要に応じて奉仕活動を進めています。今年度役員には 会長木本精之助 副会長金森タイ 中川幸子 書記太田智恵子 会計梶原久江 監事常富佳子のほか齋藤延枝 吉田愛子 菅原美智子を連絡員として増員いたしました。みなさまの積極参加を心より歓迎致します。

(木本精之助)

クリスタルな歌声で夢のひとつときを

名古屋いのちの電話チャリティーコンサート 2006

CBC ラジオでおなじみの Singing Lawyer

大塚 銷子 リサイタル

7月8日(土) 開演 16:00 (開場 15:30)

名古屋中央教会 (地下鉄「栄」5番出口すぐ)

- 入場料= 2,000円 (当日券 2,500円)
- 入場券ご希望の方は、名古屋いのちの電話事務局 (電話 052-971-5181) へお申し込みください。折り返し引換券をお送りします。
- 主催=名古屋いのちの電話チャリティーコンサート実行委員会
- 後援=中日新聞社・NHK 厚生文化事業団・中部日本放送
- お問い合わせ=名古屋いのちの電話 (052-971-5181)

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜りますようお願いいたします。社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会員 年間 5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員 (年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

□ 座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

□ 座番号 三菱東京UFJ銀行 大津町支店 (普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

社会福祉法人愛知いのちの電話協会
名古屋いのちの電話

2006年夏

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号
事務局 ☎ 052-971-5181
相談電話 ☎ 052-971-4343
携帯相談電話 NTTドコモ東海「#9556」

2006年7月1日発行
発行人 野村 純一
編集人 広報委員会